

雨水処理設備（淡水化処理RO膜装置内） における漏えいについて

2015年6月25日

東京電力株式会社

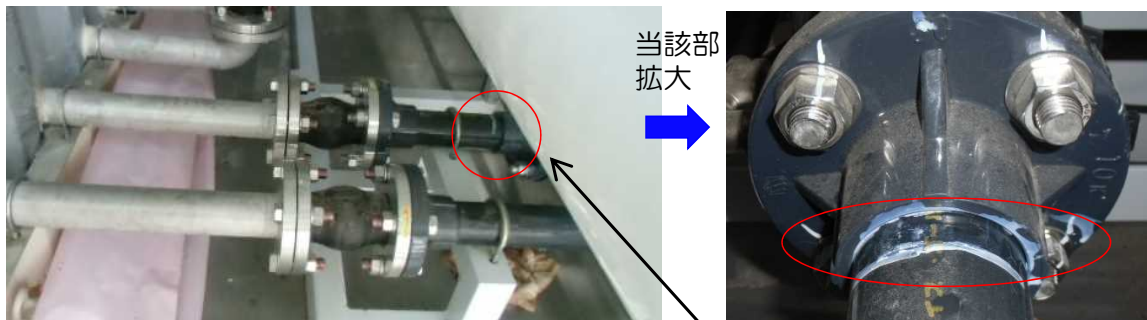


雨水処理設備（淡水化処理RO膜装置）からの漏えい事象概要

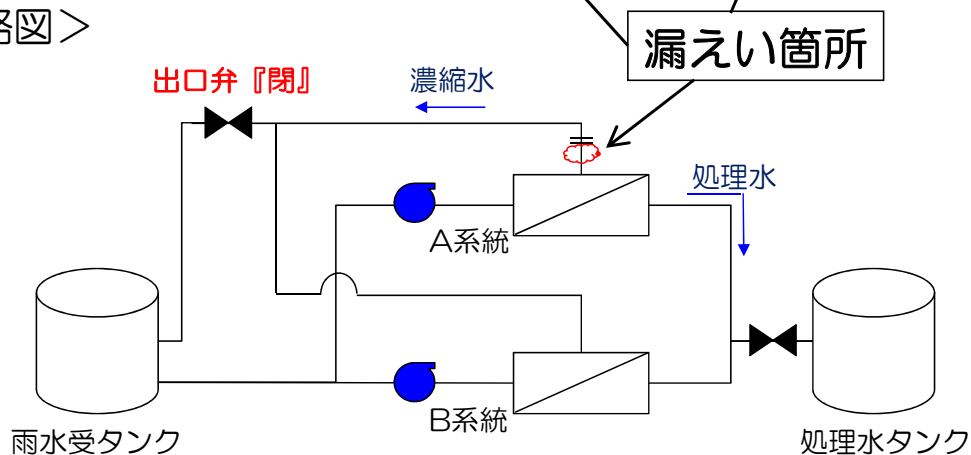
- 発生日時
2015年6月20日 9時30分頃
- 発生場所
Cエリア淡水化RO膜装置内
- 概況
8:30頃 TBM/KY実施し、手順書に従い系統ラインナップ確認実施
9:00頃 装置起動後、機器異常を知らせる警報『RO処理水圧力高』発生、速やかに装置停止し、現場確認実施
9:30頃 現場確認により、塩ビ製配管フランジソケット部から装置コンテナ内の受けパン内に漏えいしていたことを確認
 - ・ 装置停止により当該部からの漏えいは停止
 - ・ 漏えい水は、当該箇所直下に設置されている金属製受けパン内に溜まっており、装置外への漏えいなし
 - ・ 漏えい水（約20ℓ）は、メンテナンス用ノッチタンクへ移送済み
- 漏えい水の性状（Bq/ℓ）：6/19採取の処理前水分析結果
 - ・ Cs-134：ND（<1.02E+01）
 - ・ Cs-137：ND（<1.66E+01）
 - ・ 全ベータ：2.39E+04

現場状況

<現場状況写真>



<系統概略図>



調査状況他

■調査状況

- 装置出口弁が閉止していたことで内圧が上昇し、配管フランジソケット部から漏えいに至ったものと推定
- 当該弁は、手順書の記載範囲外であった
- 他作業のための隔離操作により「閉」操作されていた

■原因と対策

- 検討中